

11月の『アクセス就活Scope』は、18卒総括として、学生調査・企業調査を同時に実施しました。学生アンケートから見えてきた傾向は、理系の『超早期化』『活動量アップ』と、文系の『混乱』『活動量ダウン』でした。17卒比でさらにインターンシップ参加が増えた18卒学生ですが、インターンに参加すればスムーズに就活できるという神話はなくなったようです。企業側もインターンで発生したコストに見合うよう、採用に直結させられるとは限らない状況のなか、19卒採用想定は“比較的厳しくなりそう”“厳しくなりそう”と回答される企業が併せて約7割と、各社厳しい姿勢で来期採用に臨まれるようです。

●18卒学生アンケート調査

調査期間：2017年10月2日(月)～10月10日(火) 回答者数：374件

- 『10月上旬時点の内定保有率』は、全体86.6%、文系85.0%、理系92.0%となった。前年比、文系が2.3ポイント上昇、理系が2.5ポイント上昇して、全体平均2.4ポイントアップとなった。6月下旬時点では70%に達していなかった文系だが、この3ヶ月で約15%の文系学生が新たに内定を得たということになる。
- 『内定保有者の就活継続率』は、「内定に満足して終了」が全体で90.1%で、17卒より微増。なお16卒同月調査では、「内定に満足して終了」が約83%であり、年々内定に対する満足度が高まってきていることが分かる。
- 『インターンシップ参加経験』は、17卒と比較すると、全体で11.6ポイントアップしている。文系参加率は、68.5%と17卒と比較して12.9ポイントアップし、また理系は参加率70.5%と、昨年同様文系より高い参加率となった。2年前、16卒同月調査においては理系参加率が45%であったことを考えると、この2年間で1.5倍以上の理系学生がインターンシップに参加するようになったということになる。
- 『インターンシップ参加期間』は、「1日間」が全体で最も多く75.6%、17卒比15.6ポイントと大幅アップしていて、1dayインターンの増加が目立った。また、インターンシップ参加率が高まった理系では、17卒より「5日間」が19.8ポイントとこちらも大幅に上昇した。
- 『入社予定企業へのインターン状況』については、文系の84.9%が「入社予定企業のインターンに参加せず、同業他社へのインターンにも参加していない」。17卒同時期アンケート回答の71.3%よりも13.6ポイントも多く、インターンシップが「就労体験」という本来の意味での機能を果たすようになったのかもしれない。
- 『就活を振り返っての評価』では、インターン参加経験者/未経験者でクロス集計を実施。「大変だった・どちらかといえば大変だった」が、インターン経験者が58.2%、インターン未経験者もほぼ同等の54.3%。また、「大変だった」と回答した学生の多くが文系学生であった。文系学生の多くは、結果として内定を得られたが、インターンシップに参加したがゆえに後の就活プロセスで苦しみ、併せて“売り手市場だから大丈夫”という気持ちも、結果として『活動量ダウン』に結び付いたのかもしれない。一方、理系学生では現行採用スケジュールの初年度(16卒)で混乱を経験した先輩達からのアドバイスの結果か、インターンシップ参加回数・エントリー数・面接回数が、軒並み前年比アップ。さらに、採用選考スケジュールの早期化に伴い、複数内定を手にする理系学生が少なくなったようだ。

●企業アンケート調査

調査期間：2017年10月2日(月)～10月16日(月) 回答者数：202件

- 『18卒採用で強化した施策』「経団連非加盟」「加盟」「親会社が加盟」に区分してクロス集計を実施。全体平均で最も多かったのが「会社説明会日程の増加」44.1%。次に「合同セミナー参加」43.1%であった。
- 『内定出しを開始した時期』では、全体には6月上旬がピークだが、面接同様、17卒より早期化しており、また属性によってかなり時期が異なることがわかる。「非加盟」は、17卒ピークの6月上旬より1ヶ月以上早い4月下旬にピークを迎えて14.3%。「加盟」は昨年同様6月上旬がピークではあるが、17卒45.7%よりも低い34.1%となり、その分4月下旬に12.2%とこちらも前倒し傾向が見える。「親会社が加盟」は、昨年より2～3週間早く4月上旬に第一波が来ている。
- 『18卒採用は完全に終了したか』「親会社が加盟」「加盟」は、「終了」したと回答した企業が63.4%・71.4%。一方「非加盟」は、「終了していない」と回答した企業が61.9%と、ほぼ間逆の状況となった。
- 『募集人数に対する内定受諾人数比率(採用達成率)』全体に17卒より達成率が高くなっているが、特に、「非加盟」「親会社が加盟」企業は、達成率101%以上が、32.2%、40.0%と昨年より大幅に改善。「加盟企業」は、達成率81%～100%が50.0%と昨年よりも7.1ポイントアップし、各社とも数においては一定以上達成していることが分かった。
- また、『内定者に対する評価』では、「非加盟」が「質的には満足だが量的に不満」で42.2%と最も高い。「加盟」は「質的には不満だが量的には満足」が最も高く31.7%。「親会社が加盟」は「質・量ともに満足」が35.7%で最も高い。各属性それぞれの、内定者への評価となった。
- 『19卒で強化したい施策』では、全ての属性を通して共通して強化施策となっているのが、「学内セミナー(大学主催)/ (業者主催)参加」で、18卒時よりも最大20ポイント上昇している。また、直接触れフェーズにおけるコンテンツの強化も各社課題とみられ、「インターンシップコンテンツ強化」「会社説明会コンテンツ強化」も最大20ポイント上昇している。